

平成二十五年度 未来の京都創造研究事業

研究だより

第5号

本事業は、大学の若手研究者と京都市の担当部署が協力しあって調査・研究を進めることで京都市の政策や事業に生かすことのできる、より実践的な研究成果の獲得を目指して、公益財団法人大学コンソーシアム京都と京都市が共同で行っている事業です。
今回の研究だよりは「学生参加型ビジネスコンペを利用したソーシャル・ビジネスの育成・普及にかかわる実証研究」に取り組んでおられる研究について内容を報告します。



学生参加型ビジネスコンペを利用したソーシャル・ビジネスの育成・普及にかかわる実証研究

研究代表者 大室 悦賀 (京都産業大学 経営学部 准教授)

研究概要

ソーシャル・ビジネス(※注)に関して京都市内の企業約二千社にアンケート調査したところ、ソーシャル・ビジネスに対する潜在的ニーズが存在することが確認できました。しかし、ソーシャル・ビジネスの商品やサービスを普及させるためには、供給者側の問題だけでなく、それらを消費する社会志向型消費者の存在が必要不可欠であることがわかりました。

そこで、本研究では大学コンソーシアム京都に加盟する大学の学

生を対象に、アクションリサーチを実施します。具体的には、ソーシャル・プロダクトを販売する企業から普及に関わる課題、例えば「潜在顧客である10・20代をどうやって将来の優良顧客に育成することができるか」を提示し、それに取り組む学生チームが企業との共同ワークショップ、ブラッシュアップ大会を通じて、最終的に具体的な課題解決手法を企業に提示するという内容です。参加企業にも学生にも有意義な実証実験とするためのワークショップの開催とともに、効果的な提案方法の伝授

や、学生からの質問・意見に対応するために企業とのコラボレーションに精通した専門家を事務局に配置しています。それぞれのステップで参加企業と学生に対してアンケートを実施し、意識変化の過程を確認します。加えて、ソーシャル・ビジネスを開発するときに何が問題となるかを明らかにしたいと考えています。

今回のイベントのように継続的にソーシャル・ビジネスにかかわる取り組みが社会志向型消費者を育成し、ソーシャル・ビジネスの普及に貢献できればと思っています。

す。研究結果として、ソーシャル・ビジネスの育成・普及という市の政策課題に対して新たな手法を提示したいと考えています。

(※注)：社会的な問題をビジネス(事業)を通して解決しようとする取り組み



進捗状況

学生が主体的に参加するプログラム「Release」は20大学、152名の参加を得て、3月の最終提案に向けてグループ活動を展開しており、学生対象の第一次アンケート等を行いました。

現時点でソーシャル・ビジネス開発の壁として2点を確認しました。ひとつは社会的課題の取り扱いで、社会的課題のみを解決しようとするボランティア的なものになりビジネス化できない一方、ビジネス化に焦点を当てすぎると社会的課題がうまく扱えないこと。もうひとつは、通常のビジネスと

研究者プロフィール



おおむろ のぶよし 大室 悦賀 (京都産業大学 経営学部 准教授)

もともと社会的課題の解決に関心があり、行政からNPOへ、NPOから企業に関心に移る中でソーシャル・ビジネスや社会志向型企業の台頭に出会いました。研究の目的はそれらの動きを理論的に解明することですが、社会的課題の解決に貢献したいという思いが強くあったため、研究成果を活用して直接、企業や行政職員たちを支援するという環境をいただいています。その結果、日本全国にお邪魔する機会が増え、同時にご当地ラーメンにはまっています。

3月19日(水) 18時~ 成果報告会・交流会 開催 キャンパスプラザ京都

今後の抱負

本研究事業を通してソーシャル・ビジネスを支援するツールを開発し、京都の企業を活性化できるようにすること、また今回開発する京都式支援モデルを全国で活用できるものにしていきたいです。



編集後記

ソーシャル・ビジネスという言葉は初めて聞いたかもしれませんが、でも我が国には昔から似たような言葉があることをご存知ですか? 「三方よし」です。

「売り手よし、買い手よし、世間よし」。売買している二者のみならず、周りにとってもプラスとなる商い(あきない)を我々の先輩たちはやってきました。

その遺伝子を引き継ぐ京都の学生たちは、仲間とともに意欲的に取り組んでいます。

参加企業も本気。しがらみのない学生からの自由な発想に基づく提案のうち、本当に良い提案は事業化・商品化することも予定されています。期待しましょう。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部 シンクタンク事業 TEL: 075-708-5803 FAX: 075-353-9101 E-mail mirainokyo@consortium.or.jp

大学コンソーシアム京都 未来の京都

